７／２９（火）の発表

報道発表資料の配付日時　７月２９日（火）１６時００分

発表項目（行事名）	令和７年度北海道スポーツ賞受賞者の決定について		
記者レクチャーのお知らせ	（実施日時）	発表者	
		発表場所	

【ポイント】
- ○　北海道では、スポーツの振興に寄与した方及びスポーツ競技会において優秀な成績を収めた方に北海道スポーツ賞を贈呈しています。
- ○　この度、令和７年度（2025年度）の受賞者について、北海道スポーツ推進審議会で審議の上、決定したのでお知らせします。

概要

○　受賞者（敬称略）

振興に寄与した方	優秀な成績を収めた方		
・大野（おおの）　裕美（ひろみ）	・石原（いしはら）　美海（みなみ）	・久保（くぼ）　颯大（そうた）	
・岡嶋（おかじま）　恒（つねし）	・馬狩（うまかり）　柊斗（しゅうと）	・佐藤（さとう）　瞳（ひとみ）	
・北国（きたぐに）　浩（ひろし）	・榎本（えのもと）　凌也（りょうや）	・清水（しみず）　彩花（あやか）	
・佐々木（ささき）　通喜（みちよし）	・奥秋（おくあき）　静子（しずこ）	・中原（なかはら）　旺助（おうすけ）	
・千葉（ちば）　英守（ひでもり）	・菊地（きくち）　花奈（はな）	・畠山（はたけやま）　このみ	
	・木村（きむら）　和平（かずへい）	・藤谷（ふじや）　瞭至（りょうじ）	

※　受賞者の功績及び成績は別紙をご参照ください。

○　贈呈式
日程は現在調整中のため、決まり次第、改めてお知らせします。

＜北海道スポーツ賞の概要＞

［表彰の目的等］
スポーツの優秀な成績を収めた者及びスポーツの振興に寄与した者を顕彰することにより、北海道におけるスポーツの振興に資することを目的として昭和37年度からスタート。

［表彰の基準］
○スポーツの振興に寄与した者
地域社会又は職場において、継続して10年以上スポーツの普及振興のための企画又は指導に特に尽力した者でおおむね40歳以上の者

○スポーツの優秀な成績を収めた者
受賞者決定の前年度において、国民スポーツ大会などの全国大会等で複数回優勝、オリンピック・パラリンピック・デフリンピック競技大会で入賞、国際的に高く評価される大会で３位までに入賞した者など

参考

＜昨年度までの受賞者数＞

スポーツの振興に寄与した方	個人　255名	団体　22団体
スポーツの優秀な成績を収めた方	個人　535名	団体　115団体

報道（取材）に当たってのお願い	
他のクラブとの関係	同時配付　同時レク　（場所）道政記者クラブ、関係振興局（石狩、胆振、日高、渡島、上川、十勝、釧路）

担当（連絡先）　環境生活部スポーツ局スポーツ振興課（担当者：課長補佐　谷内）
ＴＥＬ　ダイヤルイン　０１１－２０４－５２０９　内線　２４－４１３
公用スマホ　０１１－５８５－６１０４　内線　４２０５２

令和７年度北海道スポーツ賞受賞者

● スポーツの振興に寄与したもの～ 個人５名

受賞者名	居住地(出身地) 年齢	主な経歴
おおの　ひろみ 大野　裕美	鷹栖町(名寄市) 46歳	自衛隊に入隊してから銃剣道及び短剣道を始め、各種大会に出場し、本競技を始めた当初から現在においても、全国・全道大会等で数々の入賞を収め、第一線選手として長きにわたり活躍。 また、選手として活動する傍ら、後輩選手の育成やジュニア指導者として、多数の優秀選手を輩出し、後輩選手においても、全国の第一線選手として活躍。 また、全日本銃剣道連盟女性普及委員長、アスリート委員、ブロック指導員及び北海道銃剣道連盟女性部長として、組織の強化、指導者の養成、競技力の向上などに尽力するとともに、日印国交樹立60周年記念インド共和国派遣日本武道団の一員として親善交流に貢献。今年は、シンガポール共和国派遣日本武道団の一員として参加予定。
おかじま　つねし 岡嶋　恒	札幌市北区(旭川市) 71歳	剣道の世界選手権大会をはじめ、各種全国大会で北海道を代表する選手・監督として活躍するとともに、北海道剣道連盟剣道指導室の副指導室長として各種講習会の中核的立場で精力的に活動し、多くの優秀な指導者及び選手を輩出。全日本剣道連盟理事（学校教育部会）として、学校教育における武道教育の振興に貢献。 北海道剣道連盟の副会長として組織の充実、指導者の養成、競技力の向上等剣道の振興発展に尽力するとともに、札幌剣道連盟会長として自ら率先し修行に励み、剣道範士の立場で生涯学習、生涯剣道の範を示している。
きたぐに　ひろし 北国　浩	恵庭市 62歳	恵庭市スポーツ少年団役員では、スポーツ少年団本部副本部長、本部長を12年間にわたり歴任し、スポーツ少年団本部の組織強化において尽力した。 また、長きにわたり、恵庭スポーツ協会及び恵庭サッカー協会役員として、地域スポーツ振興及びサッカー競技の普及、啓発に大きく貢献。 令和３年からは、北海道サッカー協会理事として、協会の運営全般に関する方針決定、予算の承認、活動計画の立案、会員の権利擁護、地域サッカーの振興などを担い、北海道サッカー協会４種委員（少年団）約20年の経験を活かして北海道全体のサッカー普及・振興及び地域社会との交流、連携を図り、サッカーを通じて社会貢献に尽力した。
ささき　みちよし 佐々木　通喜	帯広市 77歳	永年にわたり、北海道並びに国内のスケート競技会及び連盟組織内において、普及振興並及び競技力向上に努力し、多数の選手・審判員の育成技術指導に貢献。特に国際スケート連盟公認スターターに就任後は世界選手権大会・ワールドカップなど国内外の数多くのスピードスケート競技会においてスターターを務めた。 また、北海道スケート連盟においては理事・スピード委員会副委員長として各種競技会の運営立案に尽力され、その多くを成功に導いた。 平成３年から現在も帯広スケート連盟副会長、また、平成25年からは北海道スケート連盟理事として、選手の育成強化や審判員の技術指導に力を発揮した。
ちば　ひでもり 千葉　英守	札幌市中央区 75歳	平成元年から札幌少林寺拳法協会の会長、平成21年から北海道少林寺拳法連盟の会長として、少林寺拳法競技の発展に長年にわたり尽力。 また、バトミントン競技の普及進展にも携わり、平成３年から令和７年３月まで札幌地区バドミントン協会の会長、平成４年から令和５年３月まで札幌レディース連盟の会長としてバドミントン競技の発展に尽力。 同時に、各種大会や諸行事に率先して参加し、選手達に温かい声掛けを行うなど、広く少林寺拳法及びバドミントンの普及、発展に貢献した。

● スポーツの優秀な成績を収めたもの～ 個人12名

受賞者名	居住地(出身地) 年齢	主な成績
いしはら　みなみ 石原　美海	大阪府(苫小牧市) 22歳	・デフバレーボール世界選手権2024沖縄豊見城大会　優勝
うまかり　しゅうと 馬狩　柊斗	沼田町 17歳	・全日本パワーリフティング選手権大会第30回ジュニア・サブジュニアクラシック部門 SJR男子59kg級　優勝(日本記録更新) ・第22回全日本選抜高等学校パワーリフティング選手権大会　男子59kg級　優勝
えのもと　りょうや 榎本　凌也	士別市 18歳	・第71回全国高等学校ウエイトリフティング競技選手権大会　96kg級　優勝 （スナッチ4位、クリーン＆ジャーク1位） ・第78回国民スポーツ大会ウエイトリフティング競技会　少年男子96kg級　優勝 （スナッチ1位、クリーン＆ジャーク1位）
おくあき　しずこ 奥秋　静子	帯広市(士幌町) 17歳	・JUNIOR WORLD CUP 第1戦 500m　優勝 ・第74回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会　500m、TP、2000mリレー　優勝 ・JUNIOR WORLD CUP　第3戦　500m　2位 ・ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会 500m　優勝、1000m、混合リレー　3位
きくち　はな 菊地　花奈	宮城県(旭川市) 17歳	・AFC　U-17女子アジアインドネシア2024　準優勝
きむら　かずへい 木村　和平	東京都(帯広市) 28歳	・パリ2024パラリンピック競技大会　男子1000m　タイムトライアル　B　6位
くぼ　そうた 久保　颯大	幕別町 17歳	・第74回全国高等学校スピードスケート競技選手権大会　男子1500m、男子1000m　優勝 ・第48回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会　男子1000m　優勝 ・ISU世界ジュニアスピードスケート選手権大会　混合リレー　3位 ・第15回全国高等学校選抜スピードスケート競技会　男子1500m　優勝
さとう　ひとみ 佐藤　瞳	大阪府(函館市) 27歳	・WTTファイナルズ2024福岡　女子ダブルス　優勝
しみず　あやか 清水　彩花	神奈川県(むかわ町) 22歳	・第97回日本学生氷上競技選手権大会　女子2000mリレー　優勝 ・第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会　成年女子A　2000mリレー　優勝
なかはら　おうすけ 中原　旺助	札幌市中央区 17歳	・2025FISフリースタイルスキージュニア世界選手権大会　優勝
はたけやま 畠山　このみ	茨城県(釧路市) 18歳	・第77回全国高等学校陸上競技対校選手権大会　400m、400mハードル　優勝
ふじや　りょうじ 藤谷　瞭至	平取町 20歳	・ワールドユニバーシティゲームズ冬季競技大会（ｲﾀﾘｱ/ﾄﾘﾉ）スノーボード　ビッグエア　優勝

※ 年齢はいずれも令和7年3月31日